

キャッシュレスについて

森 建人



導入に向けた準備を進めているところである。

〔質問〕キャッシュレス・消費者還元事業の促進について伺う。

〔質問〕10月1日より消費税増税が行なわれ、増税対策としてキャッシュレス決済導入が必要とされる。

白石城歴史探訪ミュージアム、小十郎プラザ、おもしろい市場でのキャッシュレス決済の導入状況を伺う。

〔答弁〕〔市長〕白石城歴史探訪ミュージアムの売店では、交通系電子マネー、クレジットカード、スマートフォンアプリによる決済が可能となっている。

小十郎プラザでは、スマートフォンアプリによる決済が行える。おもしろい市場は、

事務局は引き受けられない旨の申し出があった。今年の夏まつりを受けて、来年度以降のようになるのかは未定である。

〔質問〕今年の夏まつりは白石市観光協会が主催者であった。

その他の団体にもお願いしたとのことだが、どのような団体で、どのような理由により実行委員会を引き受けてもらえなかったのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕団体については、公益社団法人白石青年会議所、ロータリークラブ、中央通り商店街振興組合にお願いした。

各団体からは、それぞれの団体で抱えている事業があるとのことから、実行委員長、また主催者を引き受けることは難しいという返事をいただいたものである。

〔答弁〕〔市長〕本市においては、本年7月2日に中央公民館で、8月1日には蔵王町、2日には大河原合同庁舎で宮城県主催のキャッシュレス説明会が開催され、本説明会には白石商工会議所も協力している。

◎夏まつりについて

〔質問〕商工会議所が主催者から外れ、事務局を引き受けなかったとのことであるが、来年以降も同様なのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕昨年12月27日に白石商工会議所の会頭ほか役員及び職員が市役所を訪れ、白石夏まつりの主催者から外れ、実行委員会の

公共交通空白地域対策について

佐藤 龍彦



〔質問〕本市の公共交通空白地域の現状について、どのように認識されているのか伺う。

〔答弁〕〔企画情報課長〕

本市の公共交通空白地域については、平成29年6月に策定した白石市地域公共交通網形成計画の策定過程で市内公共交通のカバー圏域について調査を実施している。

調査は、乗合タクシー、市民バス、宮交バス、JR東北本線などの公共交通の停留所などから距離があり、公共交通を便利に利用できない地域を把握するために実施したものである。

えている。

これまで公共交通空白地域の解消策として、郡山地区、小下倉地区及び大平地区で乗合タクシーの試験運行を行なった経緯があるが、いずれも恒常的な利用者の確保が見込めず、本運行に至っていない現状にある。

〔質問〕低所得、一人暮らしなど交通弱者のために、さらなる対策が必要ではないか。

〔答弁〕〔市長〕白石市高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業を実施しているが、ドライバー不足が深刻になっている。今般、策定中の第6次総合計画においても、

住みなれた地域で生活していただくため、さまざまなご意見を頂戴していきたい。

〔その他の質問〕

◎本市の教員の労働環境及び教育環境について

◎校納金について